教 育 要 覧

— 平 成 ２８ 年 度 —

竹 原 市 教 育 委 員 会

目　　次

Ⅰ 竹原市の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ 平成２８年度竹原市教育行政の目標　・・・・・・・・・・・・　2

Ⅲ 教育委員の構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌　・・・・・・・・・・・・　3

Ⅴ 教育費科目別当初予算の推移　・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅵ 竹原市立小学校・中学校の現況　・・・・・・・・・・・・・・　6

Ⅶ 竹原市立幼稚園の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

Ⅷ 生涯学習の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

Ⅸ 図書館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

Ⅹ たけはら美術館　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９

Ⅺ 平成２８年度竹原市教育委員会の主要な事業　・・・・・・　３１

Ⅰ 竹原市の概要

市　章
City Insignia
竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴する。
昭和38(1963)年選定

1　地　勢

面積１１８．２３㎢(東西２１．２㎞･南北１４．７㎞)
竹原市は，広島県沿岸部のほぼ中央に位置し，東・北・西を山で囲まれているが，南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成して居る。また，年間平均気温１５．４度，年間降水量１，２６９．０㎜と温暖な気候にも恵まれ，南部地域では，ぶどう・じゃがいも・みかん等の農作物の栽培が盛んで，市の特産物となっている。
(面積 平成２８年１月１日現在，　気温･降水量 平成２７年１～１２月分)

2　歴　史

市北部には壮大な古墳群があり，縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており，今から約 ３，０００年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(６４５年)後，古代山陽道が整備されて都宇駅が置かれ，古くから交通の要所であった。平安時代には京都下鴨神社の荘園となり，竹原荘と呼ばれた(１０９０年)。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(１２５８年)，小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。

江戸時代に入浜式塩田が開かれ(１６５０年)，竹原は急速に発展し，瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え，頼一門を始めとする多くの文人，学者が生まれた。

明治時代に入ると，古くから商港として栄えた忠海に，豊田郡役所(１８７８年)や税務署(１８９６年)等が置かれ，豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和１０年の呉線全線開通と，同１２年の昭和鉱業（現三井金属鉱業）操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は，昭和２７年から同３１年までに下野村・東野村・大乗村・南方村の小梨地区，そして荘野村・田万里村及び吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し，昭和３３年に忠海町と合併して市制を施行し，現在に至っている。

3　人口・世帯数の推移　　(平成２８年4月３０日現在)

(1) 人　口　　２６，９９１人
　　男　１２，８４０人
　　女　１４，１５１人

(2) 世帯数　　１２，６３８世帯

Ⅱ 平成２８年度竹原市教育行政の目標

竹原市は，多様化する市民ニーズや地域の課題などに的確に対応し，総合的かつ計画的にまちづくりを推進していくため，平成２１年３月「第５次竹原市総合計画」を策定した。この計画では，これまでの取組を踏まえ，めざす将来像を『住みよさ実感　瀬戸内交流文化都市　たけはら』と定め，本市の持つ自然環境や歴史文化，コミュニティなど持てるもの，いわゆる底力を発揮し，多彩な交流・ふれあい，さらなる歴史文化をはぐくみ，活きいきとした暮らしやまちの活力・魅力を継承・発展させ，訪れたい，住んでみたい，住み続けたい，そして住んでよかったと思えるまちづくりを目指している。

教育施策の基軸を『子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦』と定め，安心と自信をもち子育てができるまち，子どもの夢を応援するまち，知徳体のバランスのとれた子どもの育成ができるまち，そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し，それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人ひとりが，生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために，教育行政の果たす役割は非常に重要である。

平成２６年度からの後期基本計画及び平成２７年１１月に策定した「竹原市教育大綱」では，これまでの取組を継承するとともに，特に力を入れて進めていく施策として「将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実」・「新たな生涯学習の仕組みづくり」・「町並み保存地区の更なる活用・魅力づくり」を「チャレンジプロジェクト」に位置づけ，安心と自信をもち子育てができる環境の充実，次代を担う子どもの育成，生涯にわたり地域で活きいきと活躍できる生涯学習の推進，文化財の更なる活用，魅力づくりの具体化を図る。

教育行政の目標

１　「夢をもち，子どもが輝く教育の実現－未来を拓く新たな教育への挑戦－」を目指し，「就学前教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした，「基礎学力の定着・向上」「ＩＣＴ活用教育」「生徒指導」「小中一貫教育」の推進

２　新しい生涯学習の推進を目指して，「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

３　だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して，「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進

４　竹原の歴史文化や町並みが守られ，活かされることを目指して，「歴史文化を守り，伝え，はぐくむ人づくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進

５　青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して，「青少年の健全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

Ⅲ 教育委員の構成

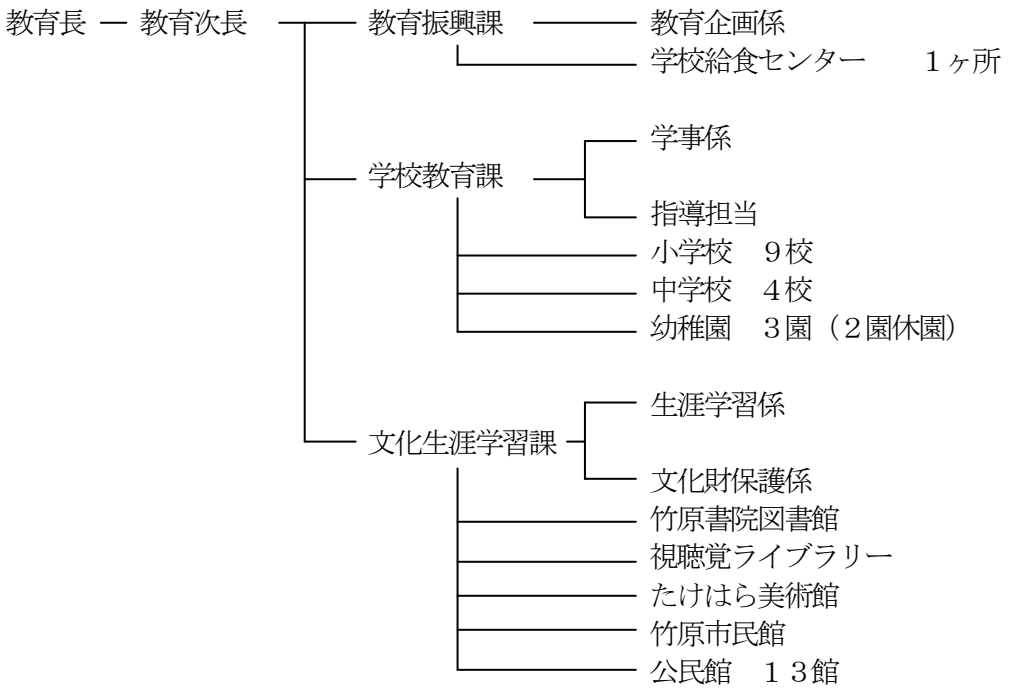
教育委員　　（平成２８年５月１日現在）

役 職 名	氏　　名	最初の就任年月日 任期満了年月日
委員長	梅　田　一　榮	平成１９年　２月　１日 平成３１年　１月３１日
委　員	河埜内　鈴　子	平成１９年　２月　１日 平成３１年　１月３１日
委　員	浅　野　　稔	平成２５年　２月　１日 平成２９年　１月３１日
委　員	西　野　弘　美	平成２６年　１月３１日 平成３０年　１月３０日
委　員	黒　田　雄次郎	平成２４年　６月２１日 平成２８年　６月２０日
教育長	竹　下　昌　憲	平成２４年　６月２１日 平成２８年　６月２０日

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌

１　教育委員会の機構

（１）所在地　竹原市中央五丁目１番３５号
（２）事務局・学校その他の教育機関



2　竹原市教育委員会事務局事務分掌

教育振興課

教育企画係

(1)　教育委員会の会議に関すること。　(2)　教育行政の企画及び総合調整に関すること。
(3)　教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関すること。
(4)　教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関すること。
(5)　公印の管守に関すること。　(6)　公文書の受付，発送及び整理に関すること。
(7)　教育委員会に係る歳入歳出予算に関すること。
(8)　調査統計に関すること。（他課に属さないもの）
(9)　教育財産の取得及び処分に関すること。
(10)　教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。　(11)　請願，陳情等に関すること。
(12)　叙勲申請等に関すること。　(13)　学校給食に関すること。
(14)　学校，幼稚園施設に関すること。　(15)　奨学金に関すること。
(16)　教育行政相談に関すること。
(17)　教育委員会その他教育機関の建設及び維持管理に関すること。
(18)　教育委員会各課の連絡調整に関すること。(19)　総合教育会議の連絡調整に関すること。
(20)　その他，課の庶務に関すること。
(21)　その他，他の課の所掌に属しない事項に関すること。

学校教育課

学事係

(1)　通学区域に関すること。　(2)　児童，生徒及び幼児の就学に関すること。
(3)　教職員並びに児童生徒及び幼児の保健，安全，厚生，福祉及び環境衛生に関すること。
(4)　教具その他備品に関すること。　(5)　就学援助，就学奨励に関すること。
(6)　幼稚園保育料に関すること。　(7)　その他，学校教育に関すること。
(8)　その他，課の庶務に関すること。

指導担当

(1)　校長，教職員等県費負担職員の任免，給与その他人事に関すること。
(2)　学級編成に関すること。　(3)　学校教育の調査統計に関すること。
(4)　学校図書館に関すること。　(5)　学校関係諸機関との連絡に関すること。
(6)　教育課程に関すること。　(7)　教育内容に関すること。
(8)　学習指導に関すること。　(9)　生徒指導に関すること。
(10)　教職員の研修に関すること。　(11)　教科書の採択に関すること。
(12)　教育相談室に関すること。

文化生涯学習課

生涯学習係

(1)　社会教育委員及び社会教育関係委員に関すること。　(2)　生涯学習の推進に関すること。
(3)　スポーツ推進審議会委員に関すること。　(4)　スポーツ推進委員に関すること。
(5)　体育の振興に関すること。　(6)　体育関係施設に関すること。
(7)　芸術文化に関すること。　(8)　たけはら美術館の管理運営に関すること。
(9)　竹原市民館の管理運営に関すること。　(10)　公民館の管理運営に関すること。
(11)　教育集会所の管理運営に関すること。　(12)　市立竹原書院図書館に関すること。
(13)　竹原市視聴覚ライブラリーに関すること。　(14)　その他生涯学習に関すること。
(15)　課内庶務に関すること。

文化財保護係

(1)　文化財及び関係施設に関すること。　(2)　市史に関すること。
(3)　歴史的風致維持向上計画（文化・文化財部門）に関すること。
(4)　町並み保存センターに関すること。　(5)　歴史民俗資料館に関すること。

Ⅴ 教育費科目別当初予算の推移

（単位：千円）

科目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育費	971,797	1,266,639	2,118,237	1,801,591	1,228,265
教育総務費	239,307	183,787	1,400,803	847,653	477,772
教育委員会費	3,017	2,953	3,076	3,023	2,921
事務局費	187,314	131,867	132,352	125,626	121,692
教育指導費	43,793	45,238	61,435	61,259	71,562
就学奨励費	5,183	3,729	4,099	1,436	1,212
小中一貫校整備費	0	0	1,199,841	656,309	280,385
小学校費	194,613	564,541	188,092	288,884	188,428
学校管理費	161,745	533,122	157,411	255,308	161,099
教育振興費	32,868	31,419	30,681	33,576	27,329
中学校費	133,530	113,438	113,753	244,343	135,807
学校管理費	104,661	87,335	87,140	221,125	113,316
教育振興費	28,869	26,103	26,613	23,218	22,491
幼稚園費	74,001	60,083	56,763	36,160	36,657
幼稚園費	62,689	48,546	42,982	35,967	36,594
教育振興費	11,312	11,537	13,781	193	63
社会教育費	241,924	254,842	268,077	283,773	286,869
社会教育総務費	2,827	32,895	41,789	45,266	46,575
公民館費	73,733	75,103	71,526	75,532	78,063
図書館費	56,109	61,008	60,578	60,472	59,969
青少年指導費	4,534	4,517	4,476	4,455	4,460
文化財保護費	57,685	38,718	39,373	51,552	46,997
視聴覚教育費	2,271	0	0	0	0
美術館費	42,928	40,395	36,608	44,820	38,550
文化振興費	1,837	2,206	13,727	1,676	12,255
保健体育費	88,422	89,948	90,749	100,778	102,732
保健体育総務費	8,558	8,481	8,729	8,538	8,959
体育施設費	4,270	4,067	2,858	3,306	3,011
学校給食費	75,594	77,400	79,162	88,934	90,762

Ⅵ　竹原市立小学校・中学校の現況

平成28年度 竹原市学校教育ビジョン

夢をもち、子どもが輝く教育の実現

基本方針	重点項目
就学前教育の推進	○ 学びの基礎の定着 ○ 保幼小中連携の推進
確かな学力の向上	◎ 主体的な学びの促進 中核 ◎ 特別支援教育の推進 中核 ◎ ICT活用教育の推進 中核 ○ 読書活動の推進
豊かな心の育成	○ 道徳教育の推進 ◎ 生徒指導の推進 中核
健やかな体の育成	○ 体力つくりの推進 ○ 健康教育の推進 ○ 食育の推進
信頼される学校づくり	○ 学校評価の充実 ◎ 教職員の資質向上 中核 ○ 安全・安心な学校・地域
充実した教育環境づくり	◎ 小中一貫教育の推進 中核 ◎ 中学校区内の連携の充実 中核

具 体 的 施 策

未来を拓く新たな教育への挑戦

○ 直接体験活動の推進
○ 幼児一人一人の発達段階に応じた適切な教育の実施
○ 円滑な接続を目指した接続カリキュラムの策定と実施

○ 課題発見・解決学習の推進・授業モデルの定着
○ 学力調査等の結果を生かした日常的な授業改善
○ 個の実態に応じたよりきめ細かい支援の充実
○ 効果的なICT活用授業の充実
○ 読書意欲の向上及び学校図書館の積極的な活用

○ 道徳的判断力，心情，実践意欲や態度を養う道徳の時間の授業改善
○ 関係機関との連携強化
○ 小中一貫した生徒指導の推進

○ 体力テストの実施・分析を通した体育指導の工夫改善
○ 望ましい生活習慣の定着
○ 組織的な学校給食指導

○ 学校評価を活用した，家庭や地域との協同的な学校教育の推進
○ 人事評価制度を踏まえた，計画的・組織的・継続的な人材育成
○ 竹原市の子どもを愛する活力ある教職員の育成
○ 不祥事防止委員会の機能化と服務規律の確保
○ いじめ，体罰アンケート等を活用した防止機能の強化

○ 9年間を見通した指導の徹底（学力・生徒指導・体力）
○ 目標一元化を見据えた小中連携の推進

忠海小学校

郵便番号	729-2317		
所 在 地	竹原市忠海東町三丁目9番1号		
校　　長	北村　洋子		
学 級 数	7	児 童 数	146
電　　話	0846-26-0205		
Ｅメール	tadanoumi-e@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■　　－広く　やさしく　元気よく－

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて，主体的に学び，行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

【知】　○自ら学び，考え，行動できる児童生徒
【徳】　○自らを律し，他を思いやることができる児童生徒
【体】　○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し，往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり，前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線，国道１８５号線が走り，近くには宮床海岸や石風呂などがある。

■研究主題■

アイデンティティを育て，自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造
～対話から，道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし，小学生と中学生が日常的に交流できる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成し，ICT機器を活用しながら，わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】
・授業の相互参観
・家庭学習の定着

【健やかな体】
・外遊び，日常的な運動の奨励，部活動の充実
・よい姿勢の定着
・残業ゼロの取組

【豊かな心】
・GT,地域資源等の活用,地域連携授業
・自発的,自治的な児童会,生徒会活動の充実

【信頼される学校】
・小中合同行事の充実（授業，懇談会，学校行事）
・教育活動の積極的な公開

大乗小学校

郵便番号	729-2313		
所 在 地	竹原市高崎町185番地7		
校　　長	山田　具海		
学 級 数	7	児童数	74
電　　話	0846-24-1155		
Ｅメール	onorisho@tanet.ne.jp		

■校　訓■　－正しく　強く　仲よく－

■教育目標■

夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う
～気づき，考え，つながり，輝く～

■めざす子ども像■

力を合わせ　きらり輝け　大乗っ子

■めざす学校像■

笑（しょう）　**楽**（がっ）　**考**（こう）

《笑》顔であいさつ
《楽》しく学習・体験・つながる
《考》しっかり

■学区の概要■

校区は，市南東部，風光明媚な瀬戸内の波に沿うように広がっている。また，バンブージョイハイランドや栽培漁業センターなど自然の恵みを生かした施設があり，教育活動に利用している。さらに「福田の獅子舞」をはじめとする文化・伝統に育まれた地域であり，学校教育への関心も高く，書道・太鼓・折り紙・和楽器などに造詣が深い方々にゲストティーチャーとして協力を得ている。

■研究主題■

思考力・表現力を育てる授業づくり
～思考・表現を解釈し，主体的に学びをつくる活動の充実～

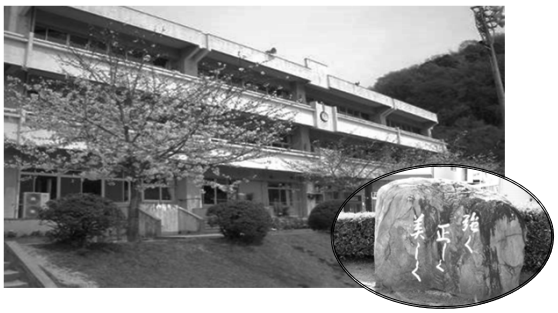
■特色ある教育活動■

ありたい自分の姿　**自律**　**挑戦**

自分の伸びを実感する 確かな学力(知)	自己決定し協働できる 豊かな心(徳)	主体的に取り組む 健やかな体(体)
学習スタンダードの徹底 **①授業改善** ・主体的な学びのある授業実践 ・「論点」を明確にした授業づくり ・ICT活用 ・★学習三則の徹底 **②学力向上** ・学びの日常化（家庭学習）	**生活スタンダードの徹底** **①規範意識の育成** ・★生活三訓の徹底・レベル3の取組 **②他者を思いやる心の醸成** ・『あいさつ』運動 ・温かい言葉遣いの徹底 ・心を耕す体験活動・本物体験	**体つくりスタンダードの徹底** **①体力の向上** ・日常的な体力づくり ・運動環境の整備 **②基本的生活習慣の定着** ・規則正しい生活リズムの定着 ・食育の推進 ・各たよりによる発信

竹原小学校

郵便番号	725-0023		
所 在 地	竹原市田ノ浦二丁目5番1号		
校　　長	福田　明		
学 級 数	10	児 童 数	214
電　　話	0846-22-2105		
Ｅメール	takesyo@tanet.ne.jp		



教育目標
夢や希望をもち，主体的に学ぶ子どもの育成

■研究主題■

主体的に学び，自分の考えを表現できる児童の育成

■特色ある教育活動■

対話し向上する子 → 継続しやり遂げる子 → 判断し行動する子 → ライセンスに挑戦する子

《確かな学力》
- 主体的な学びを促す教育活動の推進
- 思考力,表現力を育てる授業の創造
- 学習習慣の定着

《健やかな体》
- 基本的生活習慣の改善
- 瞬発力,持久力,走力の向上

《豊かな心》
- 規範意識の向上
- 道徳教育の充実

■学区の概要■

○本校の校区は，小京都**「たけはら」**と呼ばれる竹原市街のほぼ中央に位置し，往時は塩田で栄えた古くからの町である。背後には緑豊かな山々が連なり，前には瀬戸の海が広がる風光明媚な所である。
○校区には，江戸時代の町並みが残る「町並み保存地区」があり，周辺は主に商店街と住宅街である。

中通小学校

郵便番号	725-0012		
所 在 地	竹原市下野町3469番地		
校　　長	川内　直美		
学 級 数	8	児 童 数	132
電　　話	0846-22-2606		
Ｅメール	nakanet1@tanet.ne.jp		

■教育目標■

ともに学び合い，自ら伸びる

めざす子ども像

竹のごとく伸びる子
自ら考え表現する子
思いやりのある子
たくましい体をつくる子

■研究主題■

読解力・表現力の育成を目指した国語科の授業づくり
～ICTを活用した協働的な学びを通して～

■特色ある教育活動■

《思考力・表現力の育成》	電子黒板等ICT機器を活用した研究授業の実施 国語科校内教育の充実，書く活動・発表の機会充実
《基礎基本の学力の定着》	バンブータイムでの基礎・基本の定着を図る取組 漢字・計算検定の実施，小中が連携した学力向上の取組
《読書の習慣》	朝読書絵本の読み語り，図書館整備・充実 家庭での読書活動の推進
《自己肯定感の育成》	児童・保護者・地域が一体となって行う体験活動 自己目標の設定，小中連携の推進，縦割り班活動
《あいさつの徹底》	児童会活動による生活目標の設定と評価 小中連携によるあいさつの徹底
《体力の向上》	走・跳の運動能力の向上，目標の設定とがんばりの評価， 中通サーキットトレーニング
《食育の推進》	生活がんばり週間（月1回），栄養バランス，お弁当の日

■学区の概要■

西に朝日山（標高４５４ｍ）がそびえ，中央に北西から賀茂川が流れ，その河岸に，国道２号線より竹原市を結ぶ国道４３２号線が通り抜けている。また，沿道には大型スーパー，運輸会社，自動車販売会社などが並んでいる。教育に寄せる地域の関心は高く，図書ボランティア・ゲストティーチャーをはじめとしてたくさんの方々が学校に協力してくださっている。

竹原西小学校

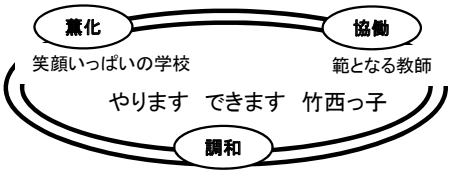
郵便番号	725-0021		
所在地	竹原市竹原町2440番地		
校長	北村　由美子		
学級数	15	児童数	297
電話	0846-22-0946		
Eメール	takenisi@tanet.ne.jp		

■教育目標■
自ら学び心豊かに生きる児童の育成

■研究主題■
主体的に学ぶ児童の育成
～クロスカリキュラムによる書く活動の充実を通して～

■めざす子ども像■
○　本気で学習
○　進んで挨拶
○　黙々と掃除
○　しっかり食べて　しっかり運動

■特色ある教育活動■



■学区の概要■
竹原西小学校は，安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し，学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周囲を葡萄畑や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。明治６年創立の明親館を前身とする竹原西小学校は，竹原小学校の児童数が増加したことにより昭和４３年に創立され，今年で４８年目を迎えた。
保護者も地域の方も協力的で，ＰＴＡ活動にも多くの参加があり，活気ある教育活動が行われている。

東野小学校

郵便番号	725-0004		
所在地	竹原市東野町914番地		
校長	芳川　真理		
学級数	9	児童数	66
電話	0846-29-0114		
Eメール	higasino@tanet.ne.jp		

■教育目標■
自ら学び，共に伸びる

■研究主題■
自他のよさや違いを生かし，つながり合い，共に高め合う児童の育成
～チャレンジし，高め合う道徳教育～

■めざす子ども像■
気づき・考え・実行する子

■特色ある教育活動■
今年のキーワード「チャレンジ」

■学区の概要■
本校は，竹原市中心部と国道２号線を結ぶ国道４３２号線の中間の西側山麓に位置している。
地域は，賀茂川沿いの６地域からなっており，人家は国道沿いに多く集まっている。
農村地帯であるが，農業に従事する保護者は減少しており，竹原市を中心とした周辺町の会社・工場に勤務している。近年新興住宅地の造成も減少し，全国的傾向である少子高齢化は，当地域でも進んでいる。

○豊かな表現
・表情豊かな歌声　・力強い東野太鼓
・音読・図書室の充実
○基礎基本の学力の定着
・スキルタイムの充実　・単元構成の授業
○リーダーを中心とした異学年集団による仲間づくり
・たて割り班活動・たて割りそうじ
・ロング昼休憩
○花，野菜いっぱいの学校

荘野小学校

郵便番号	725-0002		
所在地	竹原市西野町2025番地		
校長	石井　浩樹		
学級数	6	児童数	76
電話	0846-29-0002		
Eメール	kamogawa@tanet.ne.jp		

■教育目標■

夢や目標に向かい　自らを伸ばす

○自ら考え，進んで学ぶ子
○思いやりのあるやさしい子
○ねばり強く挑戦する子

■学区の概要■

竹原市の北西部，国道2号線と４３２号線との交差点の西方に位置し，山に囲まれ，賀茂川，葛子川，田万里川が流れ，自然豊かな田園地帯の中にある。北東に横大道古墳が，南に小早川隆景の木村城址が，東西に旧山陽道が走っており歴史的に古い町である。

学校教育への関心が高く，ＰＴＡ活動・ボランティア活動など，多くの協力をいただいている。

■研究主題■

主体的に学び，伝え合う子どもの育成
～思考をつなげる授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

徹底・挑戦

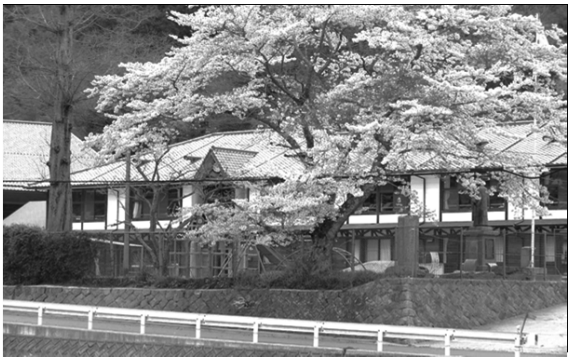
知
- 基礎･基本の定着
  （チャレンジタイム・ぐんぐんタイム・家庭学習の習慣化）
- 主体的な学び，思考力・表現力の向上
  （算数科の授業改善，ＩＣＴ機器の活用）
- 地域を生かした学びの創造
  （総合的な時間の充実，地域の人々との交流）

徳
- 思いやりの心の育成
  （「荘野しぐさ」の取組，縦割り班活動の充実）
- 責任を持って行動する態度の育成
  （特別活動と道徳教育の重視）
- 規範意識の向上
  （学校のきまりの徹底，賀茂川スタンダードの取組）

体
- 健康な体つくりの推進
  （わんぱくタイム・外遊び・体育科・体育的行事）
- 健康的な生活習慣の確立
  （生活がんばり，食育指導，保健指導）

仁賀小学校

郵便番号	725-0005		
所在地	竹原市仁賀町1280番地		
校長	竹林　千恵		
学級数	3	児童数	10
電話	0846-29-0307		
Eメール	nikasyo@tanet.ne.jp		



■教育目標■

「自分を育てる」
自考・自律・挑戦

■学区の概要■

竹原市北西部に位置し，美しい賀茂川の流れに沿って田畑があり山からは鹿や猪等が学校近くまで降りてくる姿もよく見かけられるなど豊かな自然がある。

平成２３年度に仁賀ダムは完成し，周辺工事もほぼ終了し，学校周辺の自然環境は落ち着きを取り戻してきた。

保護者・地域の教育に対する関心は高く，学校行事や体験学習に協力してくださる方は多い。このような自然や地域の人たちに支えられて異学年交流のもとで体験を通して学ぶ学習を進めている。

■研究主題■

「思考力を育てる算数科授業の創造」
～主体的な学びの設定と評価問題の工夫を通して～

■特色ある教育活動■

【知】　主体的な学びの創造・複式授業スタイルの確立
基礎学力の定着・向上（チャレンジタイム等）
読書活動の推進(読書タイム・夢あふれる学校図書館)

【心】　自律心・向上心・自己表現力の育成（和太鼓演奏・表現の場の工夫）小中連携の推進（北部合同体験等）にじます飼育

【体】　基本的生活習慣の定着(あいさつ・言葉づかい)
業間体育・保健指導・食育(ランチルーム給食)

【信頼】地域との合同行事
体験活動（仁賀小まつり・運動会）

吉名小学校

郵便番号	725-0013		
所在地	竹原市吉名町4907番地１		
校長	徳森　友希男		
学級数	8	児童数	118
電話	0846-28-0203		
Eメール	yoshisyo@tanet.ne.jp		

■教育目標■

知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる児童を育成する

- **知** 基礎学力の向上・定着
- **徳** 自己肯定感,自己有用感のもてる場の充実
- **体** 体力つくり,食育の推進

■学区の概要■

○吉名町は瀬戸内海に面しており，温暖で穏やかな気候と自然に恵まれている。
○吉名町はかつて「じゃがいも日本一」に輝いたほどの産地であり，体験・交流活動を通して地域の方々から子どもたちは多くのことを学んでいる。

■研究主題■　≪「学びの変革」実践指定校≫

「ICEモデルによる生きる力の育成をめざした『主体的な学び』に関する研究　」

～シンキングツールを活用した協働的な学習の取組を通して～

■特色ある教育活動■

①小中一貫教育

9年間を見通した系統的な指導
○高学年での乗り入れ授業（国語・算数・音楽・体育・外国語活動）
○合同行事（遠足・運動会等）
○合同研修会

②基礎学力の向上・定着

○表現力の育成
○基礎学力の定着
　・吉名チャレンジ
　・シンキングタイム
○ICT活用教育の推進
○家庭学習・親子読書の充実
○自主学習ノートの実施

③体力つくり

○芝生を活用した体力向上　・ハッスルタイム
○家庭や地域と連携した食育の充実（栄養教諭を中核に）

忠海中学校

郵便番号	729-2317		
所在地	竹原市忠海東町三丁目9番1号		
校長	北村　洋子		
学級数	5	児童数	95
電話	0846-26-0929		
Eメール	tadanoumi-e@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■　－広く　やさしく　元気よく－

■教育目標■

夢や希望の実現に向けて，主体的に学び,行動する児童生徒の育成

■めざす子ども像■

【知】　○自ら学び，考え，行動できる児童生徒

【徳】　○自らを律し，他を思いやることができる児童生徒

【体】　○心身ともに健康で頑張りぬく児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し，往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり，前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線，国道１８５号線が走り，近くには宮床海岸や石風呂などがある。

■研究主題■

アイデンティティを育て,自己の可能性を伸ばす道徳教育の創造

～対話から,道徳的判断力の育成を目指した授業づくりを通して～

■特色ある教育活動■

施設一体型小中一貫校の特徴を生かし，小学生と中学生が日常的に交流できる時間と場所を確保する。9年間を見通したカリキュラムを作成し，ICT機器を活用しながら，わかる・できる授業を創造する。

【確かな学力】
- 授業の相互参観
- 家庭学習の定着

【豊かな心】
- GT,地域資源等の活用,地域連携授業
- 自発的,自治的な児童会,生徒会活動の充実

【健やかな体】
- 外遊び,日常的な運動の奨励,部活動の充実
- よい姿勢の定着
- 残業ゼロの取組

【信頼される学校】
- 小中合同行事の充実（授業,懇談会,学校行事）
- 教育活動の積極的な公開

竹原中学校

郵便番号	725-0012		
所在地	竹原市下野町2230番地		
校長	住元　康男		
学級数	11	生徒数	320
電話	0846-22-2045		
Eメール	takehara-takehara-j@hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■

「求真」

■教育目標■

「踏み出す力」の育成

■学区の概要■

南を瀬戸内海に面し，中央を賀茂川が流れる。竹原市は安芸の小京都と呼ばれ，製塩や酒造業で栄えた歴史と文化の薫り高い街である。

学区には竹原，竹原西，中通，大乗の４小学校があり，５つの小中学校で９年間を見据え，「自律の心に根ざした主体的な学びの創造」を教育指針とし，小中一貫教育を推進している。

■研究主題■

「主体的な学びを育む道徳教育の創造」

～ルーブリック指標に基づく効果的な評価を通して～

■特色ある教育活動■

めざす生徒像：直向（ひたむき）！竹中生

1 知　基礎的な学力を身につけ，疑問を持ち，考え抜く力のある生徒の育成

2 徳　集団の規範を尊重し様々な人々と協力できる生徒の育成

3 体　心身を鍛え，最後までやり抜く気力・体力のある生徒の育成

賀茂川中学校

郵便番号	725-0004			
所 在 地	竹原市東野町2051番地１			
校　　長	十亀　琢磨			
学 級 数	5	生 徒 数	90	
電　　話	0846-29-0200			
Ｅメール	takehara-kamogawa-j@hiroshima-c.ed.jp			

■教育目標■

世界に向かって　夢をもち
　心豊かにたくましく生きる生徒の育成

○めざす学校像
・あいさつや笑顔にあふれる学校
・生徒の目の輝きにあふれる学校
・環境が美しく落ち着きのある学校

■学区の概要■

本校は，賀茂川の源流にある中学校区として知られ，竹原市の北部に位置し，山と川にかこまれた風光明媚な田園地帯にあり，豊かな自然に恵まれ，学校では懐かしい鐘の音が時を告げている。

地域や保護者の教育に寄せる期待と関心は高く，地域の子どもの健全な育成にむけて熱心な活動がなされている。こうした地域や家庭の教育力に培われた生徒は素直で明るく，学校でも落ち着いた雰囲気で学習が進められている。

■研究主題■

「主体的に学び合う生徒の育成」
―特別支援教育の視点を取り入れ，
　共感的な人間関係を育む授業づくりを通して―

■特色ある教育活動■

★学習：学習三則（自発・協同・鍛錬）の徹底
★心　：道徳教育の充実・感動体験
★体　：部活動の充実（毎朝・夕練習）
★表現：生徒による生徒朝会
★体験：大豆栽培・味噌作り・福祉体験・職場体験・
　味噌プレゼント活動・ボランティア活動（木村城の清掃・里帰り清掃）・和文化体験（茶道）
★生活：生活三則（挨拶励行・時間厳守・環境美化）の徹底
★安全：毎日，集団下校・下校パトロール

吉名中学校

郵便番号	725-0013			
所 在 地	竹原市吉名町2671番地			
校　　長	二宮　力			
学 級 数	4	生 徒 数	67	
電　　話	0846-28-0205			
Ｅメール	yoshina-j@hiroshima-c.ed.jp			

■教育目標■

「知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる生徒の育成」

○学力と体力の調和のとれた教育活動の推進
○生徒の自主的・主体的な態度の育成
○小中一貫教育の推進
○地域との連携の強化

■学区の概要■

本校は竹原市の西部に位置し，温暖な気候と自然に恵まれている。主な産業としてジャガイモの栽培や煉瓦工場で知られている。地域には,保育所・小学校・中学校が１校ずつしかなく,地域の学校への関心は高い。地域全体で吉名町の子どもたちを育てていこうという雰囲気が出来てきている。

■研究主題■

ＩＣＥモデルによる生きる力の育成をめざした
「主体的な学び」に関する研究

■特色ある教育活動■

◎小中一貫教育…吉名小学校と系統性を持たせた教科指導，生活面の指導について連携し，小学校から中学校への円滑な移行を図る。
◎効果的な言語活動…「論理的思考力」「豊かな表現力」の育成における各教科・領域での具体的な手立てを作成し，実践する。
◎健康教育…栄養や食の大切さについて考えさせ，日頃,作ってくれる人への感謝の気持ちを育てるために，「自作弁当の日」を位置つけている。
◎吉中タイム…生徒一人ひとりに確かな学力の定着を図るために，週５日間,（毎日１５～５０分間），国・社・数・理・英の５教科について，教科担当者が復習を中心に計画的に指導する。
◎体力つくり…部活動を奨励し，新体力テスト・駅伝活動・体育朝会を活用した体力つくりを行う。
◎歌声指導…行事前に集中して歌声活動に取り組み，校内に歌声を響かせる。
◎話し方集会…全校生徒が自分の意見をテーマに沿ってまとめ，全校集会で大きな声で発表したり,プレゼン形式で発表する。（ＹＰＭ）

1　小・中学校児童生徒数及び学級数

(1) 小・中学校児童生徒数　　(平成２８年５月１日現在)

校番	学校名	児童・生徒数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	忠海小	30	22	29	20	19	24	2	146
2	大乗小	9	8	13	16	16	10	2	74
3	竹原小	41	38	32	37	29	34	3	214
4	中通小	22	16	24	19	23	24	4	132
5	竹原西小	41	58	43	38	50	60	7	297
6	東野小	11	7	14	6	11	14	3	66
7	荘野小	10	9	8	18	15	16	0	76
8	仁賀小	2	1	0	3	1	3	0	10
9	吉名小	20	21	16	20	15	19	7	118
小学校計		186	180	179	177	179	204	28	1,133
1	忠海中	32	23	37				3	95
2	竹原中	100	108	108				4	320
3	賀茂川中	33	24	30				3	90
4	吉名中	21	23	22				1	67
中学校計		186	178	197				11	572

(2) 小・中学校学級数　　(平成２８年５月１日現在)

校番	学校名	学級数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	忠海小	1	1	1	1	1	1	1	7
2	大乗小	1	1	1	1	1	1	1	7
3	竹原小	2	2	1	1	1	1	2	10
4	中通小	1	1	1	1	1	1	2	8
5	竹原西小	2	2	2	1	2	2	4	15
6	東野小	1	1	1	1	1	1	3	9
7	荘野小	1	1	1	1	1	1	0	6
8	仁賀小	1/2	1/2	0	1	1/2	1/2	0	3
9	吉名小	1	1	1	1	1	1	2	8
小学校計		10.5	10.5	9	9	9.5	9.5	15	73
1	忠海中	1	1	1				2	5
2	竹原中	3	3	3				2	11
3	賀茂川中	1	1	1				2	5
4	吉名中	1	1	1				1	4
中学校計		6	6	6				7	25

２　小・中学校教職員数

（平成２８年５月１日現在）

校番	校名	計	教職員数											
			県費教職員数								市費教職員数			
			校長	教頭	教主諭幹	教指諭導	教諭	教養諭護	教栄諭養	職事員務	職事員務	用務員	介助員	補校助員務
1	忠海小	17	1	1	0	0	8	1	0	1	0	1	3	1
2	大乗小	14	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	1	1
3	竹原小	24	1	1	0	0	14	1	0	2	0	2	3	0
4	中通小	18	1	1	0	0	9	1	0	1	0	1	3	1
5	竹原西小	36	1	1	0	0	19	1	1	2	0	1	8	2
6	東野小	17	1	1	0	0	9	1	0	1	0	1	2	1
7	荘野小	13	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	0	1
8	仁賀小	7	1	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
9	吉名小	23	1	1	0	0	9	1	1	1	0	1	7	1
小学校計		169	9	10	0	0	84	9	2	11	0	9	27	8
1	忠海中	17	1	1	0	0	10	1	0	2	0	0	1	1
2	竹原中	29	1	1	0	0	19	1	0	2	1	0	2	2
3	賀茂川中	17	1	1	0	0	9	1	0	1	0	1	2	1
4	吉名中	16	1	1	0	0	9	1	0	1	0	2	1	0
中学校計		79	4	4	0	0	47	4	0	6	1	3	6	4
合計		248	13	14	0	0	131	13	2	17	1	12	33	12

※ 臨時職員等を含む

3　学校施設の現況

（1）　小学校　　（平成２８年５月１日現在）

学校名			忠　海	大　乗	竹　原	中　通	竹原西	東　野	荘　野	仁　賀	吉　名	合　計
児童数			146	74	214	132	297	66	76	10	118	1,133
校地		面積	32,254	20,780	20,292	13,618	19,133	9,345	13,313	5,951	15,854	150,540
		１人当り	133.8	280.8	94.8	103.2	64.4	141.6	175.2	595.1	134.4	132.9
校地のうち運動場		面積	18,560	12,045	9,600	8,180	10,465	5,212	7,295	2,101	10,608	84,066
		１人当り	77.0	162.8	44.9	62.0	35.2	79.0	96.0	210.1	89.9	74.2
建物面積(㎡)	校舎		4,773	2,910	5,463	2,404	3,955	2,079	2,265	1,078	3,269	28,196
	屋体		1,236	1,100	1,396	997	919	846	808	789	983	9,074
保有教室数	普通教室		7	7	9	8	15	9	6	3	8	72
	特別教室	理科	2	1	2	1	1	1	1	1	1	11
		音楽	1	1	2	1	1	1	1	1	1	10
		図工	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		家庭	2	1	2	1	1	1	1	1	1	11
		図書	1	1	1	2	1	1	1	1	1	10
		コンピューター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
		特別	2	2	2	0	0	0	1	0	1	8
		多目的	1	3	11	0	3	0	2	1	4	25
		教育相談	2	0	1	0	0	0	1	0	0	4
プール			25M ７コース	25M ７コース	25M ７コース	25M ７コース	25M ７コース	25M ５コース	25M ７コース	25M ５コース	25M ７コース	
主要建物の建築年月	校舎		昭和50年 3月	昭和53年 1月	昭和51年 3月	昭和47年 3月	昭和44年 3月	昭和57年 3月	昭和63年 3月	平成 6年 3月	昭和49年 2月	
	屋体		昭和52年3月	昭和55年 3月	平成26年 3月	昭和55年 3月	昭和62年 3月	昭和60年 3月	昭和63年 6月	平成11年 3月	平成元年 3月	
	プール		昭和55年10月	平成12年 3月	昭和49年 7月	昭和53年 7月	昭和54年 8月	昭和52年 8月	昭和58年 2月	昭和39年 9月	昭和45年10月	

（2）　中学校　　（平成２８年５月１日現在）

学校名			忠　海	竹　原	賀茂川	吉　名	合　計
生徒数			95	320	90	67	572
校地		面積	32,254	38,198	20,638	41,271	132,361
		１人当り	133.8	119.4	229.3	616.0	231.4
校地のうち運動場		面積	18,560	26,001	13,287	16,370	74,218
		１人当り	77.0	81.3	147.6	244.3	129.8
建物面積(㎡)	校舎		4,773	7,311	3,200	3,262	18,546
	屋体		1,236	1,471	941	1,012	4,660
保有教室数	普通教室		5	11	5	4	25
	特別教室	理科	2	3	1	2	8
		音楽	1	2	1	1	5
		美術	1	2	1	1	5
		技術	2	3	2	2	9
		家庭	2	3	2	2	9
		視聴覚	0	1	1	1	3
		コンピューター	1	1	1	1	4
		図書	1	2	1	1	5
		特別	2	4	2	2	10
		多目的	2	12	0	3	17
		教育相談	2	6	1	1	10
プール			25M ７コース	25M ７コース	25M ７コース	25M ７コース	
主要建物の建築年月	校舎		昭和50年 3月	昭和48年 9月	昭和54年 8月	昭和58年 1月	
	屋体		昭和52年3月	昭和49年10月	平成 2年 3月	昭和59年 3月	
	プール		昭和55年10月	昭和51年 8月	平成 5年 3月	昭和63年 3月	

※　忠海小学校及び忠海中学校の校地及び運動場の１人当り面積は，各面積を両校の児童・生徒数合計で除している。

4　学校保健

学校教育において，健康診断等を柱とする安全と傷害及び疾病の予防に関する保健教育と管理指導は，児童生徒の心身の健全な育成を図るとともに，児童生徒が学校生活を豊かに過ごす上で，基礎的な要素となる。

学校保健の推進にあたっては，体育，保健，安全及び給食指導との相互関連に十分配慮しながら一層の充実を図っていく。

○　児童生徒の疾病状況（平成２７年度）

区分			視力	歯科					尿			心臓	アトピー
				う歯なし	処理完了	未処理	歯垢	歯肉	蛋白	潜血	糖		
小学校	平成27年度	人数	114	697	210	255	24	6	22	26	1	11	81
		率%	9.7	60.4	18.2	22.1	2.1	0.5	1.9	2.2	0.1	5.9	6.9
	10年前	人数	330	616	442	594	21	4	16	29	0	9	119
		率%	19.7	37.3	26.8	35.9	1.3	0.2	1.0	1.8	0.0	3.4	7.1
中学校	平成27年度	人数	185	340	104	120	54	25	20	11	1	9	41
		率%	31.6	59.9	18.3	21.1	9.5	4.4	3.5	1.9	0.2	4.9	7.0
	10年前	人数	209	402	160	240	87	78	29	18	0	12	83
		率%	25.8	50.1	20.0	29.9	10.8	9.7	3.6	2.3	0.0	4.0	10.3

区分			心臓疾患	腎臓疾患	耳疾患	鼻疾患	眼疾患	咽頭疾患	ぜん息	肥満
小学校	平成27年度	人数	7	0	113	374	154	3	36	106
		率%	0.6	0.0	9.6	31.9	13.2	0.3	3.1	9.1
	10年前	人数	7	0	138	499	196	8	57	99
		率%	0.4	0.0	8.3	29.9	11.7	0.5	3.4	5.9
中学校	平成27年度	人数	2	0	47	167	88	0	23	58
		率%	0.3	0.0	8.0	28.5	15.0	0.0	3.9	9.9
	10年前	人数	4	4	60	134	90	2	44	68
		率%	0.5	0.5	7.4	16.6	11.1	0.2	5.4	8.4

５　学校給食

本市では，昭和２２年に一部の学校でミルク給食が始められ，その後，昭和２７年２月忠海西小学校における学校給食の開始を最初とし，現在では竹原市学校給食センターから小学校９校，中学校４校の全小中学校へ，安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は，基本方針に定めるとおり，食に関する指導の教材となるために，地場産物や旬の食材の使用や，家庭の食器に近く温かみのある磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。また，竹原市産の米を使用し，週３．５回を米飯とし，主食・主菜・副菜のそろった日本型の食事スタイルを基本に，できるだけ手作りで，焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

竹原市学校給食センターで使用する食材選定は，「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い，公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。また，JA や市内の生産者等と連携しながら，市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間を通して計画的に取り入れている。

竹原市学校給食センターは，市内の児童生徒からの応募で決まった「竹原すくすくセンター」というニックネームと，マスコットキャラクターの「竹ちゃん」を目印に，給食だよりの資料提供を行うなど，児童生徒や保護者に親しみやすい給食センターとなるような取組を図っている。

また，平成２３年度から毎年実施している地場産物を使用した料理コンテストの入賞作品を「竹ちゃん給食」として献立に採用し，旬や地場産物への興味関心を高める献立づくりや，広島県の郷土料理を取り入れ，食文化の継承も行っている。

⑴　給食施設の概要　（平成２８年５月１日現在）

施　設　名	建設年	建 築 構 造	延床面積 (㎡)	保有面積 (㎡)	完全給食開始
竹原市学校給食センター	平成 22 年	鉄骨	848	1,868.25	平成 22 年 9 月

⑵　学校給食調理場運営状況　（平成２８年５月１日現在）

施　設　名	児童生徒数			常勤職員					
	小学校	中学校	計	所長	副所長	栄養士	栄養教諭	事務職員	調理員
竹原市学校給食センター	1,133	572	1,705	兼 1	1 兼 1	0	兼 2	1	(19)

（　）は民間委託職員

６　食育推進について

各学校で食育推進リーダーを中心に，地域の特色を生かした食に関する指導計画を作成し，児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも，栽培活動や調理などの体験学習は，児童生徒の食に対する興味関心を高めるとともに，食べ物や生産者への感謝の心が芽生え，学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童生徒の食に関する課題から，平成２８年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体目標を「朝ごはんの充実を図る」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子を育成する」「よく噛んで食べることの大切さを知らせる」の４点を掲げ，竹原市食育推進行動計画に則しながら継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画

学校・地域・家庭が共に育てる ⇒ 児童生徒へ

○生きる力（心身の健康）　○作る喜び
○食べる楽しさ　○感謝の心

【具体目標】

１　朝ごはんの充実を図る

いつも食べる子を１００％に近づけ，単品ではなく２皿以上の朝ごはんを食べる子を９０％以上にし，赤・黄・緑のグループの食品をそろえた朝ごはんを食べる子を８０％以上にすることをめざす。

また，バランスのよい朝ごはんを食べる時間の確保のため，早寝・早起きの児童生徒を増やす。

２　食事のマナーを身につけさせる

はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ，いつもマナーに気をつけている子を９０％以上にする。

３　食事の準備のできる子を育成する

炊飯器でごはんが炊ける子を３年生までに９０％にする。小学校卒業までに自分で１食分の食事を作れる子を９０％以上にし，中学卒業までに自分の弁当を作れる子を１００ ％に近づける。

４　よく噛んで食べることの大切さを知らせる

よく噛んで食べたり，味わって食べたりする子を８０％以上にする。

食育の取組

・毎月１回…ひろしま産物 DAY
・毎月１回…竹ちゃん給食
・毎月１９日…食育の日
・６月…竹原市食育週間
・１０月…ひろしま食育ウィーク
・１月…学校給食週間

竹ちゃん給食
（児童生徒が考案した竹原ならではの料理）

月	料理名	月	料理名
４	竹ちゃんサラダ	１１	峠下牛のタコライス
５	たけのこのクリーム煮	１２	じゃがいものみそ煮
６	峠下牛とアヲハタマーマレードの甘辛炒め	１	タコジャガソティ
７	酢豚風竹原キャンベルジュース豚煮込み	２	じゃがいものマヨしょうゆ炒め
９	元気☆うまうま丼		
１０	牛たこ丼	３	たけのこの三色そぼろ

Ⅶ 竹原市立幼稚園の現況

1　竹原市立幼稚園における教育目標

幼児期は，人間形成の基礎を培う大切な時期である。幼稚園教育は，遊びを中心とし，集団生活を通した教育が行われることが重要である。

幼児の発達段階に応じた指導と，幼児相互の交流を通じて，幼児の心身の発達を助長し，その資質・能力の基礎を培うため，一人ひとりに応じた総合的な指導が行える施設整備と幼稚園教育の条件整備を図り，幼稚園教育の普及・充実に努める。

2　就学前の状況

（平成２８年５月１日現在）

区分		施設名		定員	3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	計
幼稚園	市立	竹原西		140	—	12	16	17	45
		竹原東		休園中					
		大乗		休園中					
		小計		140	0	12	16	17	45
	私立	聖愛		90	—	3	3	5	11
		小計		90	0	3	3	5	11
保育園	市立	竹原西		90	16	7	14	12	49
		吉名		90	21	12	17	10	60
		竹原		80	(18) 17	11	15	(14) 13	(58) 56
		大井		40	1	4	5	6	16
		中通		60	17	12	15	(13) 12	(57) 56
		東野		45	5	4	(4) 3	5	(18) 17
		市外入所		—	0	0	0	0	0
		田万里		休所中					
		仁賀		休所中					
		小計		405	(76) 75	50	(70) 69	(60) 58	(256) 252
こども園	私立	忠海東部	1号	5	—	0	0	1	1
			2・3号	30	(9) 8	(9) 7	5	(11) 10	(34) 30
		明星	1号	10	—	(2) 1	2	0	(4) 3
			2・3号	60	(21) 12	(9) 8	(9) 6	(10) 8	(49) 34
		大乗	1号	10	—	7	2	1	10
			2・3号	50	15	9	(6) 5	12	(42) 41
		中央	1号	95	—	(22) 21	(18) 17	(19) 18	(59) 56
			2・3号	60	(29) 26	15	11	10	(65) 62
		賀茂川	1号	10	—	2	2	5	9
			2・3号	80	(27) 24	(21) 20	13	(19) 17	(80) 74
		市外入所		—	0	0	0	0	0
		小計	1号	130	0	(33) 31	(24) 23	(26) 25	(83) 79
			2・3号	280	(101) 85	(63) 59	(44) 40	(62) 57	(270) 241
住民基本台帳年齢別人口					423	161	159	162	905

※（　　）数字は広域入所を含んだ人数

3　幼稚園施設の現状

（平成２８年５月１日現在）

幼稚園	園地面積（m²）				建物面積（m²）		園児室	建築年月	
	園地		左のうち運動場		園舎	遊戯室		園児室	遊戯室
	面積	1人当り	面積	1人当り					
大　乗	2,316	－	882	－	328	115	1	昭和46.12	昭和52.8
竹原東	2,656	－	2,051	－	292	182	3	昭和42. 3	昭和42.3
竹原西	2,765	61.4	1,776	39.4	373	147	3	昭和42. 3	昭和42.3
計	5,081	－	2,658	－	993	444	7	－	－

平成２８年度　　幼稚園紹介

竹原西幼稚園

郵便番号	725-0022		
所在地	竹原市本町四丁目3番1号		
園長	木村　みづほ		
クラス数	3	園児数	45
電話	0846-22-2394		

■教育目標■

夢をもち，心豊かにたくましく生きる子どもの育成

○げんきな子　（進んで体を動かす。）

○やさしい子　（身近な人や動植物にやさしく接する。）

○がんばる子　（何事も意欲的に活動する。）

■研究主題■

体を動かすことを楽しむ子どもを育てる

～環境構成の工夫を通して～

■特色ある教育活動■

○幼児理解を深める教育

・エピソード記述研修の推進

・かかわる力の育成

・言葉の力の育成

○系統性をふまえた教育

・３年保育の充実

・運動を楽しむための環境構成の充実

・保幼小連絡会の充実

○保護者と協同的にすすめる教育

・保護者の保育参加（絵本の読み語り，リズム遊び等）

・食育について共通理解

・基本的生活習慣の確立

Ⅷ 生涯学習の現況

1　生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで，重要な役割を担う社会教育の充実を図るため，生涯学習の理念に基づき，豊かな生涯学習社会を築くことを目標に，生涯の各時期に「だれでも，いつでも，どこでも」学べる体制づくり，また，国際化，情報化，少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び環境整備に努める。

⑴　生涯学習の推進

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を充実して，市民の生涯学習を推進する。

⑵　生涯スポーツの振興

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ，健康・体力づくりの推進を図り，健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

⑶　青少年の健全育成（市長部局補助執行）

自分たちの住む地域に関心をもち，青少年の連帯や主体性を育てるとともに，地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

⑷　芸術・文化の振興

芸術文化活動を行う個人･団体の交流を促進し，活動の充実や人材の育成に努めるとともに，活動の場を増やし，連携による相乗効果につながる活動を支援します。

⑸　文化財の保存活用

市民一人ひとりが文化財に触れる機会を増やすことで，郷土の文化財について理解を深め，関係機関・団体と連携する中で，文化財の保存・継承・活用の充実を図る。

2　生涯学習施設

⑴　教育施設

施　設　名	所 在 地	構　造	延床面積	施　設　内　容	開始年月
竹原市民館	中央五丁目 5番24号	RC造 地上3階 地下1階	3,714.33㎡	ホール，料理教室，会議室⑸，和室⑶ 竹原中央公民館併設	昭和43.10
竹原市 歴史民俗資料館	本町三丁目 11番16号	木造 2階	242.03㎡	展示室⑶，交流ホール	昭和55. 6
松阪邸	本町三丁目 9番22号	木造 2階	347.09㎡	玄関，土間，座敷，蔵，便所，台所	昭和59. 6
竹原市町並み 保存センター	本町三丁目 11番7号	RC造 2階	615.13㎡	展示室，収蔵室，集会室，研究室	昭和57. 7
光本邸	本町三丁目 7番4号	木造 平屋	156.02㎡	和室，展示室（今井政之陶芸の館）	平成12.10
森川邸	中央三丁目 16番33号	木造 2階	750.00㎡	主屋，離れ座敷，茶室，隠居部屋，土蔵，表門，脇門，塀	平成16. 4

⑵　体育施設

施設名	面積	施設の概要	所在地
市営テニスコート	1,502.89 ㎡	テニスコート２面	竹原町 3471 番地
大井スポーツ広場	2,260.00 ㎡	多目的グラウンド	下野町 926 番地 5
忠海スポーツ広場	1,120.00 ㎡	多目的グラウンド	忠海東町二丁目 5040 番地
宿根スポーツ広場	588.00 ㎡	多目的グラウンド	下野町 345 番地
小梨スポーツ広場	2,706.00 ㎡	多目的グラウンド	小梨町 10385 番地 3
田万里スポーツ広場	3,246 ㎡	多目的グラウンド	田万里町 1241 番地
田万里プール	225.00 ㎡	２５ｍ×４コース	田万里町 1229 番地 1
バンブー竹原市体育館	3,500.00 ㎡	バレーボール2面，バトミントン8面，トレーニングルーム，会議室	高崎町 1414 番地
バンブー多目的グラウンド	18,000.00 ㎡	400mトラック（8コース），サッカー1面，ソフトボール2面	高崎町 1414 番地
バンブーテニスコート	11,000.00 ㎡	テニスコート８面	高崎町 1414 番地

⑶　公民館

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開館年月日
忠海東公民館	忠海東町五丁目 1 番 13 号	ＲＣ造２階	432.50 ㎡	和室，会議室，料理実習室， 図書室，集会室	平成 3. 1. 4
忠海公民館	忠海中町二丁目 26 番 1 号	ＲＣ造２階	902.37 ㎡	和室⑵，生涯学習室，図書室 料理実習室，集会室	昭和 29. 7. 8
大乗公民館	高崎町 185 番地 7	ＲＣ造２階 （コミセン併設）	612.00 ㎡	和室⑵，会議室，資料室，図書室 展示室，料理実習室，ホール	昭和 57. 4. 1
竹原中央公民館	中央五丁目 5 番 24 号	ＲＣ造３階 （竹原市民館に併設）	3,714.33 ㎡	ホール，料理教室，図書室 展示室会議室⑸，和室⑶	昭和 52. 4.19
小梨公民館	小梨町 10381 番地 1	Ｓ造平屋 （コミセン併設）	299.97 ㎡	和室⑵，閲覧室，料理実習室 集会質，会議室	昭和 28.10. 1
竹原西公民館	竹原町 2377 番地 1	ＲＣ造２階 （コミセン併設）	620.00 ㎡	和室⑶，会議室⑵，ホール 料理実習室	昭和 58. 4.23
中通公民館	下野町 3478 番地	ＲＣ造２階	604.47 ㎡	和室⑵，会議室⑶，図書室 料理実習室	昭和 63. 3.29
東野公民館	東野町 887 番地	ＲＣ造２階	609.77 ㎡	和室⑷，会議室⑵，図書室 料理実習室	昭和 28.10.11
荘野公民館	西野町 2054 番地 1	ＲＣ造２階	606.75 ㎡	和室⑵，会議室⑷，図書室 料理実習室	昭和 27. 3. 2
田万里公民館	田万里町 1229 番地 1	ＲＣ造２階	1,554.25 ㎡	和室⑵，会議室，図書室 料理実習室，体育館	昭和 29.12.12
仁賀公民館	仁賀町 1292 番地 1	木造平屋 （生活改善センターに併設）	180.94 ㎡	和室⑵，調理実習室，集会室	昭和 31. 9.18
大井公民館	下野町 1525 番地	ＲＣ造２階	608.24 ㎡	和室⑷，会議室，図書室 調理実習室	昭和 38. 5.25
吉名公民館	吉名町 4956 番地 22	ＲＣ造２階 （出張所・コミセン併設）	660.00 ㎡	和室⑵，会議室⑵，ホール 調理実習室	昭和 34. 6.10

竹 原 市 文 化 財 一 覧 表

	名　称	所　在	指 定 年 月 日
国重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目 13 番 1 号	明治 43 年 4 月 20 日
	春風館賴家住宅	本町三丁目 7 番 24 号	昭和 63 年 12 月 19 日
	復古館賴家住宅	本町三丁目 7 番 26 号	昭和 63 年 12 月 19 日
国重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区	本町一丁目，三丁目，四丁目の一部	昭和 57 年 12 月 16 日選定
国天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和 5 年 11 月 19 日
	忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目 7 番 15 号	昭和 11 年 9 月 3 日
国登録有形文化財	旧日の丸写真館	本町一丁目 4996 番地 2	平成 26 年 12 月 19 日
県重要文化財	木造十一面観音立像	本町三丁目 10 番 44 号	昭和 37 年 3 月 29 日
	木造聖観音菩薩座像	吉名町観音谷	昭和 53 年 1 月 31 日
県　史　跡	礒宮	田ノ浦一丁目 6 番 8 号	昭和 12 年 5 月 28 日
	唐崎常陸介墓	本町一丁目 16 番 22 号	昭和 17 年 6 月 9 日
	賴惟清旧宅	本町三丁目 12 番 21 号	昭和 32 年 9 月 30 日
	木村城跡	新庄町末宗	昭和 48 年 3 月 28 日
県天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目 12 番 27 号	昭和 12 年 5 月 28 日
	楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目 8 番 1 号	平成 4 年 10 月 29 日
県無形民俗文化財	福田のししまい	福田町中谷　稲生神社	昭和 56 年 4 月 17 日
	忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目 7 番 15 号	昭和 59 年 11 月 19 日
市重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条 2046 番地	昭和 46 年 12 月 27 日
	吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条 2046 番地	昭和 46 年 12 月 27 日
	駕籠	忠海床浦二丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 12 月 27 日
	弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 12 月 27 日
	松阪家住宅	本町三丁目 9 番 22 号	昭和 60 年 4 月 10 日
	西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目 10 番 44 号	昭和 62 年 12 月 26 日
	紙本著色竹原絵屏風	本町三丁目 7 番 24 号	平成 2 年 2 月 14 日
	森川家住宅	中央三丁目 16 番 33 号	平成 16 年 7 月 21 日
市　史　跡	福田社倉	福田町中谷 1571 番地	昭和 38 年 9 月 13 日
	郷賢祠	田ノ浦二丁目	昭和 38 年 9 月 13 日
	横大道古墳群	新庄町東鷺ノ森 331 番地	昭和 38 年 9 月 13 日
	田万里鏡田古墳群	田万里町鏡田	昭和 38 年 9 月 13 日
	能島村上氏の遺跡	竹原町 124 番地　他	平成 4 年 12 月 24 日
	東永谷製鉄遺跡	下野町 966 番 1 号の一部 外	平成 20 年 10 月 22 日
市天然記念物	宿根の大桜	下野町字宿郷 359 番地	平成 26 年 4 月 24 日
市無形民俗文化財	田万里八幡神社当屋祭オハケ神事	田万里町 1222 番地	平成 25 年 10 月 24 日

Ⅸ 図書館

１　館　名　市立竹原書院図書館
　　竹原市視聴覚ライブラリー

２　所在地　竹原市中央四丁目７番１１号（〒７２５－００２６）
　　ＴＥＬ　０８４６－２２－０７７８
　　ＦＡＸ　０８４６－２２－１０７２
　　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://takeharashoin.jp/
　　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ takeharashoin@giga.ocn.ne.jp

３　開館時間・休館日
　開館　午前１０時～午後６時
　休館　毎週月曜日，毎月末日（館内整理日），国民の祝日（文化の日を除く），
　　蔵書点検期間，年末年始(１２月２８日～１月４日)

４　施設・設備
　建物面積　　７３６．８㎡（竹原福祉会館３階に併設）
　事務室　３２.２㎡　視聴覚室　２７.９㎡　閲覧室　１３２.０㎡
　児童室　５９.４㎡　書庫書庫　６７.２㎡　新聞雑誌コーナー　２１.０㎡
　参考図書室，郷土資料コーナー　５４.８㎡　その他　３４２.３㎡

５　館の特色
　⑴　図書館設立の基となった「竹原書院」は，寛政５年に郷土の先賢によって，子弟のための郷塾として設けられたものである。その精神的伝統は，明治４３年に設立の，社団法人「竹原書院」に継承され，現在の図書館名の中にも生き続けている。

　⑵　慶安３年以来，昭和３５年に廃止されるまで，約３００年間続いた旧竹原塩田に関する資料は，塩業史研究のために全国的にも貴重なもので，ほぼ完全に所蔵している。

　⑶　頼山陽を中心とする資料「頼山陽文庫」は，特別集書として貴重なもので，これまでに刊行された殆どを網羅し，収集している。

　⑶　昭和５７年１０月７日から移動図書館車「わかたけ号」が運行を開始し，図書を積載して，市内を８コースに分けて巡回している。

6　分類別蔵書数

（平成２８年３月３１日現在）

区分／分類		蔵書数	年間増加冊数		
			受入	廃棄等	小計
０．総記		12,479	316	15	301
１．哲学		7,444	158	30	128
２．歴史		16,900	476	19	457
３．社会科学		25,630	508	52	456
４．自然科学		12,399	414	50	364
５．工学		13,677	462	125	337
６．産業		5,929	146	21	125
７．芸術		12,888	358	78	280
８．語学		2,658	80	15	65
９．文学		84,432	2,808	209	2,599
計		194,436	5,726	614	5,112
内	児童書	46,448	1,658	88	1,570
	郷土	16,344	234	0	234
その他（漫画図書）		3,180			
蔵書冊数		197,616冊			

平成２７年度受入内訳

購入	７，０５８冊
寄贈	４６５冊
その他	２９７冊
遡及入力	１５１冊
計	７，９７１冊

7　郷土資料

区分	内容	冊数・点数
図書	竹原市内に関するもの	8,699
	広島県内に関するもの	7,645
近世文書	市史編さん史料として，合併町村から集めたもの，及び竹原塩田関係史料	約20,000
古絵図・拓本類	江戸時代の古絵図(軸物)と，郷土に関した拓本類	32

8　特別資料

（１）　頼山陽文庫　　８４９冊

（２）　橋本曇斉資料　　６７点

（３）　寄贈文庫　　１１，６８６冊

（光本・池田総理記念・唐島・吉井・山下・三村・松山など）

９　視聴覚資料・機器

種　　類	数	種　　類	数
レコード	258枚	ビデオテープ	126本
録音テープ	410本	マイクロフィルム	188巻
スライドフィルム	36巻	レーザーディスク	19タイトル
８ミリ映画フィルム	1巻	ＤＶＤ	110枚
紙芝居	886組	カセットテープレコーダー	2台
コンパクトディスク	84枚	オーバーヘッド	1式

１０　利用状況

（1）　開館日数

- 本　　館　　２７８日
- 移動図書館車　　９６日
- 竹原市視聴覚ライブラリー　　２７８日

（2）　図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	14,293	―	14,293
	貸出者数	30,417	6,910	37,327
	貸出冊数	138,853	26,248	165,101
団体貸出	登録団体数	240	―	240
	貸出冊数	9,871	32,199	42,070
停本所	停本所数	13	―	13
	貸出冊数	10,788	―	10,788
貸出冊数合計		159,512	58,447	217,959

X たけはら美術館

1　館　名　　たけはら美術館

2　所在地　　竹原市中央五丁目６番２８号（〒７２５－００２６）
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０８４６－２２－３５５８
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.city.takehara.lg.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ take-art@city.takehara.lg.jp

3　施設・設備

《たけはら合同ビル面積概要》　　【内訳】

敷地面積	４，９１１．０９㎡	広　島　県	５,０８６．３５㎡
建築面積	１，８８６．１４㎡	竹　原　市	１,５７３．２２㎡
延床面積	７，７８３．９３㎡	（たけはら美術館）	
		商工会議所	１，１２４．３６㎡

《たけはら美術館面積概要》

１階	文化創造ホール（展示室３）	３３９．１３㎡	放送室	６．３３㎡
	事務室	２５．８４㎡	ロビー	１１６．０６㎡
	研究室	２１．４７㎡	その他	１０６．０８㎡
	倉　庫	１１０．５１㎡		
２階	アートギャラリー・池田コレクション（展示室１・２）	４４６．４０㎡		
	その他	１１２．７１㎡		
	収蔵庫	６１．２５㎡		

4　開館時間・休館日

開館　午前９時～午後５時　（入館は４時３０分まで）
休館　毎週月曜日，祝日の翌日，年末年始（１２月２８日～１月４日）

5　館の概要

たけはら美術館は，広島県，竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に，本市の芸術・文化振興の拠点として，美術品の鑑賞の機会を提供し，広く文化活動のために利用していただくため，平成４年１１月１日に開館した。

当館は，本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し，昭和４１年に故人の遺志を受けてご遺族から寄贈された美術品（池田コレクション）を所蔵している。

池田コレクションは，竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者頼山陽（書）の他，狩野芳崖，横山大観，川合玉堂（日本画），藤田嗣治（素描），安井曾太郎（油彩画），棟方志功（水彩画）等，約１５０点を所蔵している。

竹原の文化を企画展で紹介するとともに，特別展も開催している。

館内は，１階文化創造ホール（多目的ホール），２階アートギャラリー・池田コレクションで構成し，「竹の街たけはら」にふさわしく中庭に竹の庭園を設け，くつろぎの場を醸しだしている。

6　収蔵品数

（平成２８年４月現在）

区　　分	池田コレクション	その他の収蔵品	合　　計
日本画	46	16	62
油彩画	6	38	44
水彩画	1	0	1
パステル	1	0	1
素　　描	1	17	18
書	22	52	74
彫　　塑	6	13	19
工　　芸	18	23	41
版　　画	0	12	12
その他	47	65	112
合　　計	148	236	384

7　美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区　　分			平成２７年度	平成２６年度	平成２５年度
年間開館日数			270 日	259 日	258 日
展覧会件数			6 件	5 件	6 件
総入場者数			5,746 人	2,876 人	10,176 人
展覧会平均入場者数			958 人	575 人	1,696 人
展覧会入場者	１日平均入場者数		21.3 人	11.1 人	39.4 人
	常設展	件数	4 件	4 件	4 件
		開館日数	204 日	254 日	209 日
		入場者数	2,434 人	2,485 人	2,831 人
		１日平均入場者数	11.9 人	9.8 人	13.5 人
		土日祝日平均入場者数	16.4 人	13.3 人	19.3 人
	企画展	件数	2 件	1 件	2 件
		開館日数	66 日	5 日	49 日
		入場者数	3,312 人	391 人	7,345 人
		１日平均入場者数	50.2 人	78.2 人	149.9 人

文化創造ホール

区　　分	平成２７年度	平成２６年度	平成２５年度
利　用　日　数	130 日	126 日	150 日
展示会	48 日	43 日	85 日
文化講演・講座	9 日	7 日	4 日
演奏会等	2 日	1 日	1 日
参加型イベント	4 日	2 日	2 日
講習会等	32 日	26 日	29 日
展覧会等準備日数	35 日	27 日	29 日
利用件数	55 件	47 件	42 件
年間入場者数	9,466 人	11,247 人	16,725 人
１日平均入場者数	72.8 人	89.3 人	111.5 人

たけはら美術館

平成２７年度　年間利用者数

１５，２１２人　（前年度比１，０８９人増）

Ⅺ 平成２８年度竹原市教育委員会の主要な事業

教育振興課

施策・事業名	内　　容
小・中学校施設耐震化事業 １７，７１６千円	【主要目標】 児童生徒が１日の大半を過ごす場所であり，災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。 【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため，校舎・柔剣道場非構造部材耐震化工事（竹原小校舎・荘野小校舎・仁賀小校舎・竹西小校舎（旧館・管理棟）・中通小校舎・竹原中校舎・忠海中柔剣道場・賀茂中柔剣道場）を行う。
小・中学校施設改修事業 ２６，７１９千円	【主要目標】 建築後３０年以上経過した学校が多く，施設の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。 【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため，プール濾過機修繕工事（大乗小・中通小・東野小・荘野小・吉名小・吉名中），特殊建築物定期調査（各校），水道量水器取替（旧忠海東小・旧忠海西小・竹原西小・東野小・吉名小・忠海学園）及び給排水施設整備工事（竹原中）を行う。
小中一貫教育推進事業 １，０５１千円	【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。 【事業内容】 吉名中学校区において，一体型小中一貫教育を推進するため，講演会及び先進地視察を行い，また準備委員会において，校名，校歌，校章等を協議し，決定する。
小中一貫校施設整備事業 ２８０，３８５千円	【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。 【事業内容】 吉名中学校区において，一体型小中一貫校の整備を行う（校舎増築，校舎大規模改造，屋内運動場・プール改修，小学校遊具設置，外構工事等）。
学校給食運営事業 ９０，４４０千円	【主要目標】 市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに，食育を推進する拠点として運営を行う。 【事業内容】 平成２１年度に学校給食センターを整備し，平成２２年９月から民間委託による調理業務を実施している。平成２４年度から市内の全小・中学校への給食提供を開始し，平成２８年度は１３校に約２千食を提供している。

食育推進事業 ３２２千円	【主要目標】 学校，地域及び行政が連携協力し，学校給食を教材として，日本の特徴である四季折々の「旬」や，地産地消の利点等を学びながら，食事の準備ができる子を育成するため,家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を高める食育推進を図る。 【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。
貸付金事業 ７，５８０千円	【主要目標】 進学を希望しながら，経済的理由により，高校，大学等への進学が困難な人に対して奨学金を貸与する。 【事業内容】 （修学支度金）入学時に必要な資金の貸付 高等学校　　１０万円以内 大学・専門学校　３０万円以内 （竹原市奨学金）在学に必要な資金の貸付 高等学校，高等専門学校　　国公立　１万円／月以内 私立　　２万円／月以内

学校教育課

外国語指導助手配置事業 １２，１８６千円	【主要目標】 児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。 【事業内容】 ＡＬＴ（外国語指導助手）を３名（９月以降は４名）雇用し，小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業で教員の補助をする。
小・中学校教育用ＩＣＴ整備事業 ２７，９９５千円	【主要目標】 ＩＣＴ機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実を図る。 【事業内容】 タブレット型端末整備　（利用場所：パソコン教室，普通教室ほか） パソコン台数 小学校：２４４台，中学校：１４０台 電子黒板等ＩＣＴ機器整備　（利用場所:パソコン教室, 普通教室ほか） 電子黒板台数 小学校：４９台　中学校：２２台
竹原っこ夢プロジェクト事業 １，０００千円	【主要目標】 児童生徒が夢と希望をもち，将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。 【事業内容】 児童生徒から，本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し，その実現に向けて支援を行う。 小学校２件，中学校１件を対象とする。
理科補助員配置事業 ４０８千円	【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに，教員の理科授業に関する指導力を向上させる。 【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業（５・６年生）に活用し，観察・実験活動等における教員の支援や, 効果的な実験等の演示や体験活動などを行う。

小学校公開授業研究会推進事業 １，５７０千円	【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 総合的な学習，各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。 【実施校】 ○　忠海小学校　（１０月１９日） ○　大乗小学校　（１０月１４日） ○　竹原小学校　（１０月２８日） ○　中通小学校　（　９月２１日） ○　竹原西小学校（　９月３０日） ○　東野小学校　（　９月２０日） ○　荘野小学校　（１０月　７日） ○　仁賀小学校　（　９月１６日） ○　吉名小学校　（１０月２１日）
中学校公開授業研究会推進事業 ４７０千円	【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 基礎学力の定着を図るため，指導方法等の研究を公開する。 【実施校】 ○　忠海中学校　（１０月１９日） ○　竹原中学校　（１０月１３日） ○　賀茂川中学校（１０月１２日） ○　吉名中学校　（１０月２１日）
学校緑化推進事業 ６５０千円	【主要目標】 小･中学校において学校緑化を推進し,学校の美化や景観の向上を促し,心に安らぎと潤いのある教育環境を創造するとともに,児童生徒への環境に対する関心を高める。 【事業内容】 児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに,家庭をまきこんだ取組に広げる。 【実施校】 ○　小・中学校全校

幼稚園教育公開研究会推進事業	【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに,教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育むため,指導方法等の研究を公開する。 【実施園】 ○　竹原西幼稚園　（　９月１６日）
学力検査事業 １，７８６千円	【主要目標】 児童生徒の学力を把握するとともに，課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 標準学力調査を実施し，その結果を分析し，学力向上を図る。
体力テスト事業 ３７１千円	【主要目標】 児童生徒の体力を分析し，課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 全学年体力テストを実施し，その結果をもとに体力運動能力向上を図る。
総合的な学習の時間等の推進事業 ９６３千円	【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の時間の授業を充実させる。 【事業内容】 地域の方や，特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。
教育相談事業 ４，０４０千円	【主要目標】 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ，不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し，児童・生徒等の健全育成を図る。 啓発活動を進める。 【事業内容】 教育相談室において，不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。 業務の一部を民間委託し，休日・夜間も相談業務を行う。
人材育成事業	【主要目標】 教職員一人ひとりの能力･適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。 【事業内容】 ・校長による人材育成計画の作成と竹原市教育委員会との協議 ・指導主事による学校訪問指導 ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施

文化生涯学習課

公民館運営事業 １６，７１０千円	【主要目標】 生涯学習の基本理念である，生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を推進するため，自由に学習機会を選択して学習することができ，その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。 【事業内容】 ひとづくり・まちづくりの学習拠点施設として，社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開設する。 ○　その他各種学級講座　《実施時期》　5 月～3 月 ○　公民館まつり・産業文化祭　《実施時期》　11 月～3 月 ○　公民館役職員研修等　《実施時期》　5 月～3 月 ○　子育て支援事業　《実施時期》　5 月～3 月 ○　スポーツ大会・スポーツ教室《実施時期》　5 月～3 月 ○　地域環境活動事業　《実施時期》　6 月～3 月 ○　公民館だより発行　《実施時期》　毎月 1 回
成人式事業 ６３０千円	【主要目標】 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し，成人者となったことの自覚を促し，保護者及び関係者（多くの市民）と共に祝福する。 【事業内容】 ○　式典（市長メッセージ，来賓祝辞，新成人誓いの言葉） ○　アトラクション 【開催時期】 平成２９年　１月　７日（土） 【開催場所】 竹原市民館ホール
学校体育施設開放事業 １，６２２千円	【主要目標】 学校等の体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放し，生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに，一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ，自己の健康保持，体力増進に関心を高める。 【事業内容】 学校体育施設（市内小・中学校１２校，旧忠海東小学校,旧忠海西小学校,忠海高等学校，竹原高等学校）に管理指導員を置き，地域住民のスポーツ活動を推進する。
スポーツ推進委員活動事業 ４３３千円	【主要目標】 スポーツの振興のため，地域住民に対しスポーツの実技指導，その他スポーツに関する指導・助言を行う。また，各種研修会・研究大会等にも参加し，相互の情報交流と資質の向上を図る。 【事業内容】 ○　竹原市スポーツ推進委員総会 ○　尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会

	○　尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○　広島県スポーツ推進委員研究大会 ○　広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○　広島県総合マネジメント研修会 ○　広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○　各地域のスポーツ振興の指導・助言
各種体育大会・行事運営事業 ５，５４０千円	【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに，住民一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ，自己の健康保持・増進，体力づくりに関心を高めるため，各種教室，大会行事等を実施する。 【事業内容】 ○　竹原市女性バレーボール大会　○　市民ハイキング ○　竹原市民体育大会　○　竹原駅伝競走大会 ○　竹原ロードレース大会　○　芸南学童水泳大会 ○　竹原市少年野球大会　○　竹原市少年サッカー大会 ○　竹原市バレーボール講習会
体育施設管理維持事業 ３，７７５千円	【主要目標】 市内の体育施設を開放し，生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに，一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ，自己の健康保持・増進について関心を深める。 【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事，スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し，健康・体力づくりの推進を図る。 ○　総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド ・体育館アリーナ……バレーボール，バスケットボール，卓球，剣道，バドミントン，ソフトテニス，フットサル ・多目的グラウンド……ソフトボール，サッカー，野球，ゲートボール，グラウンドゴルフ ・テニスコート ・トレーニングルーム ○　竹原市営相撲場 ○　スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場 ○　学校体育施設 ・グラウンド等……ソフトボール，野球，サッカー，テニス ・屋内運動場……バレーボール，ソフトバレー，バドミントン，バスケットボール，ビーチバレー，卓球

プロアスリートスポーツ教室事業 ２４２千円	【主要目標】 竹原市の子どもたちがスポーツを通じて夢や目標をもち，取組むことにより，競技力の向上と底辺拡大を目指す。また，指導者もトップ選手等の指導方法を学ぶことができ，指導力の向上・育成にもつながり，競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。 【事業内容】 ＮＰＯ法人トップス広島の協力を得ながら，加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 （ＮＰＯ法人トップス広島の加盟団体） サンフレッチェ広島，広島東洋カープ，ＪＴサンダース，ワクナガレオリック，広島メイプルレッズ，広島ガスバドミントン部，ＮＴＴ西日本広島ソフトテニスクラブ，中国電力陸上競技部，コカ・コーラウエストレッドスパークス
文化財保存事業 ５１，５５２千円	【主要目標】 伝統的建造物群保存地区，建造物，史跡，天然記念物，埋蔵文化財，美術工芸品，伝統的芸能など，文化的価値を有する文化財の保存と新たな文化財の発掘に努め，文化財の保存と歴史的景観の向上を図る。 【事業内容】 ○　伝統的建造物群保存修理事業　○　市内指定文化財保存管理事業 ○　試掘調査事業　○　保存対策検討事業 ○　歴史的風致維持向上事業　○　その他文化財保存事業
文化振興事業 １，６０６千円	【主要目標】 竹原市総合文化祭を竹原市文化団体連盟及び竹原市芸術文化振興協議会と，共催して開催するなど，市内の文化活動の推進を図る。また，美術展示会を同様に開催するなどして，芸術振興を図る。 【事業内容】 ○　竹原市総合文化祭開催 ○　竹原市美術展開催 ○　市内小中学校図画・書道展 ○　美術展示会・コーラス発表会等開催
人材育成事業	【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため，研修の充実を図る。 【事業内容】 ○「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施 ○公民館職員研修の実施 ○図書館職員研修への参加，各種行事への参加 ○文化担当職員の研修への参加

図書館

施策・事業名	内　　容
自動車文庫事業 １，２５５千円	【主要目標】 市立竹原書院図書館は，公共図書館として，全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため，距離的，時間的，その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に，できるだけ図書の提供が均等化するように努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ３号」を運行し，図書の提供の拡大と充実に努めている。平成１６年度より，市内全保育所・小学校へも巡回し，読書の推進を図っている。その他，市民への読書活動啓発として，市内のイベントに参加し，ＰＲ・貸出・返却・本の読み語りを実施する。 【事業内容】 ○　３９ステーションを８コースに分け，毎月１回巡回。 ○　自動車文庫に約２，５００冊（成人，児童向けを各５０％）を積載して貸出・返却を行う。
新１年生ブックスタート事業 ２９８千円	【主要目標】 読書に興味を持ち，持続的な読書習慣を家族とともに作り出す。 【事業内容】 ○　小学新１年生に絵本『手と手をつないで』を読書意欲の継続と向上を目的に読書カードと共に配布する。 ○　１年間（平成２９年２月末日まで）に多く読んだ児童を表彰する。

美術館

施策・事業名	内　　容
常設展開催経費 ３，０２７千円	【主要目標】 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて,池田勇人元首相の写真展示を開催していく。 【事業内容】 ○　所蔵品展 会期：　４月　１日（金）～　　６月２６日（日） ○　所蔵品展 会期：　７月　１日（金）～　　９月２５日（日） ○　所蔵品展 会期：　９月３０日（水）～　１２月　４日（月） ○　所蔵品展 会期：１２月　９日（金）～　　２月　５日（日）
芸術体験事業 ２０千円	【主要目標】 作品の製作過程を体験することで，芸術に対して関心を深める。 【事業内容】 ○ 絵付けをしよう
特別展開催経費 １，９８９千円	【主要目標】 現代の京都工芸を代表する作家の作品を展覧し,最先端の日本の工芸の現状を広く周知するとともに，美術館の有効活用や魅力向上を図る。 【事業内容】 京都工芸展を開催し，陶芸・染色・漆芸・織物・金工など　作家約３０人の作品を紹介し，現代の工芸を展覧する。
県美展開催経費 ３６５千円	【主要目標】 広く市民から美術作品を公募し，優れた作品を展示することにより，創作活動を奨励するとともに,鑑賞の機会を提供し,芸術文化の向上を図る。 【事業内容】 開催日　９月１４日（水）～９月１８日（日）

子ども福祉室（市長部局補助執行）

施策・事業名	内　　容
竹原市青少年指導員設置事業 １５０千円	【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われ易い場所を巡回し，状況を把握するとともに，指導し，学校・警察関係機関（団体）等との連携を図り，青少年の健全育成を図る。 【事業内容】 ○ 市内巡回指導 ○ 学校・警察関係機関（団体）等との情報交換をし，青少年の健全育成を図る。 《実施時期》　　７月～３月
子ども会育成事業 ２７０千円	【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り，子ども会組織の自立並びに，子ども会活動の円滑な運営を推進し，青少年の健全育成を図る。 【事業内容】 ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会　《実施時期》　５・１２月 ○ 竹原市子ども会育成連合会総会　《実施時期》　６月 ○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会　《実施時期》　２月